

災害やイベント用にトイレカー導入

—苫小牧市

北海道苫小牧市はこのほど、福祉バイオトイレカーを導入した。高齢者や車椅子利用者の社会参加促進を目的にしたもので、今後、イベントで活用するという。

トイレカーは、日産のトラックの荷台を改造したもの。幅2メートル、奥行き3メートルの個室があり、中は車椅子でも動ける広さとなっている。車両価格は1,900万円。

洋式便器の中にはおがくずが入っており、水を使わずに微生物が汚物を分解する。臭いもなく、災害

時に使用することも想定している。

苫小牧市にはかねてから、身体障害者団体などが各種イベント会場に多目的トイレを増やすよう要望していた。これを受け、市は用地確保や維持管理など費用を検討した結果、トイレカーの導入を決断したという。

トイレカーは神奈川県で警備会社を運営する優成サービス（株）が2008年に開発。11年の東日本大震災や16年の熊本地震の被災地でも活躍した。

（福祉新聞・第2797号 2017年2月6日）